

(仮称) 近鉄郡山駅前子育て世代活動支援センター整備に伴う  
屋内遊び場・親子交流機能実証実験支援業務仕様書

1. 業務の名称

(仮称) 近鉄郡山駅前子育て世代活動支援センター整備に伴う屋内遊び場・親子交流機能実証実験支援業務

2. 業務の目的

(仮称) 近鉄郡山駅前子育て世代活動支援センター（以下、支援センターという。）は、近鉄郡山駅周辺整備事業に関連して整備される「店舗等公共駐車場」内に、「屋内遊び場」「交流エリア」「一時預かり室」の3つの機能を備えた施設として本市が整備を計画しているものである。同センターは、子どもから大人までだれもが日常的に集い、こどもを中心とした地域コミュニティを育むプラットフォームとして機能することを目指しており、その実現に向けて利用ニーズ調査のための実証実験を実施し、同センターの整備及び運営方法を検討材料とすることを目的とする。

3. 履行期間

契約締結日から令和8年10月31日まで

4. 履行場所

大和郡山市内

5. 業務の内容

受注者は以下の業務を行うものとする。なお、各業務の詳細については、市と協議の上で決定する。

(1) 実証実験の実施

実施場所：市立体育館（南郡山町）

実施時期：令和8年8月9日（日）・10日（月）を予定。

○会場設営

以下のエリアで構成する会場について、必要な備品・什器等を調達のうえ設営する。

・遊具エリア

支援センターに整備を予定している屋内遊び場をイメージできるよう、実際に遊具を複数（3～4点程度）配置する。対象は未就学児とし、乳児用の遊び場を他のエリアとは別に区画して設け、安全性を確保する。床面は安

全性に配慮し、適宜必要に応じて衝撃を和らげるためのマット等を敷く。

・体験エリア

会場内に複数のブースを設け、親子で一緒に参加して遊び、体験できるワークショップ等を複数開催する。参加料は原則として無料とする。

・子育て講座

保護者向けの子育てに関する講座を開催する。1回の参加者は10～20名程度を想定。支援センターは男性の育児参画を促進するための機能を検討していることから、特に父親の関心を誘う内容とする。

・交流エリア

テーブルセット等を配置し、休憩場所として自由に利用できるカフェのようなエリアを設定する。「こどもを中心とした地域コミュニティを育むプラットフォーム」としての中核的機能であり、会場の中央部に設置することが望ましい。

○会場運営及びアンケート調査の実施

来場者の受付及び案内誘導のための係員を配置し、安全かつスムーズに遊べるよう配慮する。また、支援センターの整備および運営方法の検討に利用するためのアンケートを作成し、会場内で参加者が回答できるようにする。

○広報・周知

フライヤーやポスター等を制作するほか、各種 SNS 等を利用して、本事業の開催を広く市民に広報・周知する。フライヤー等の印刷物の部数は市と協議の上決定する。

(2) 実施結果の検証および報告書の作成

実験でのアンケート結果等、実施結果を整理し、結果について分析・考察する。その結果に基づき、支援センターに必要な機能や配置すべき遊具の種類等を報告書として取りまとめる。

(3) 打合せ・調整

本業務の打合せは、業務着手時、中間時2回、成果物納入時の計4回を予定するものとする。なお、業務の遂行上、別途協議が必要と判断された場合は、発注者との協議により随時打合せの場を設けるものとする。

また、打合せ内容については受注者がその都度記録する。記録は word 形式 (A4 縦型) で打合せ後、速やかに作成し、相互に確認した上で提出すること。

## 6. 成果物・提出書類

本業務の成果物としては、以下の項目を取りまとめた資料として2部作成し提出すること。なお、本業務に基づいて作成された成果物は、すべて本市へ帰属する。本市の許可なく他に公表、貸与してはならない。

- ① 実施報告書（A4判ファイル）2部
- ② 各種協議記録（A4判サイズ）1式
- ③ その他、業務上作成した図表および資料 1式
- ④ 上記資料の電子データ（電子媒体）1式

※データについては、Word・Excel・PowerPoint 形式を基本として、Illustrator・Photoshop・InDesign 等 Adobe 製品を使用する場合はPDF形式データを成果物とする。